

2012

1/1

January
No.150

市報 やまぐち

WEBサイト <http://www.city.yamaguchi.g.jp/>

検索サイト <http://www.city.yamaguchi.g.jp/keisai/index.html>

e-mail koho@city.yamaguchi.g.jp

新たな「山口らしさ」作りに挑戦

P.3

笑顔があふれる「SLフェア2011」





山口市議会議長 野村幹男

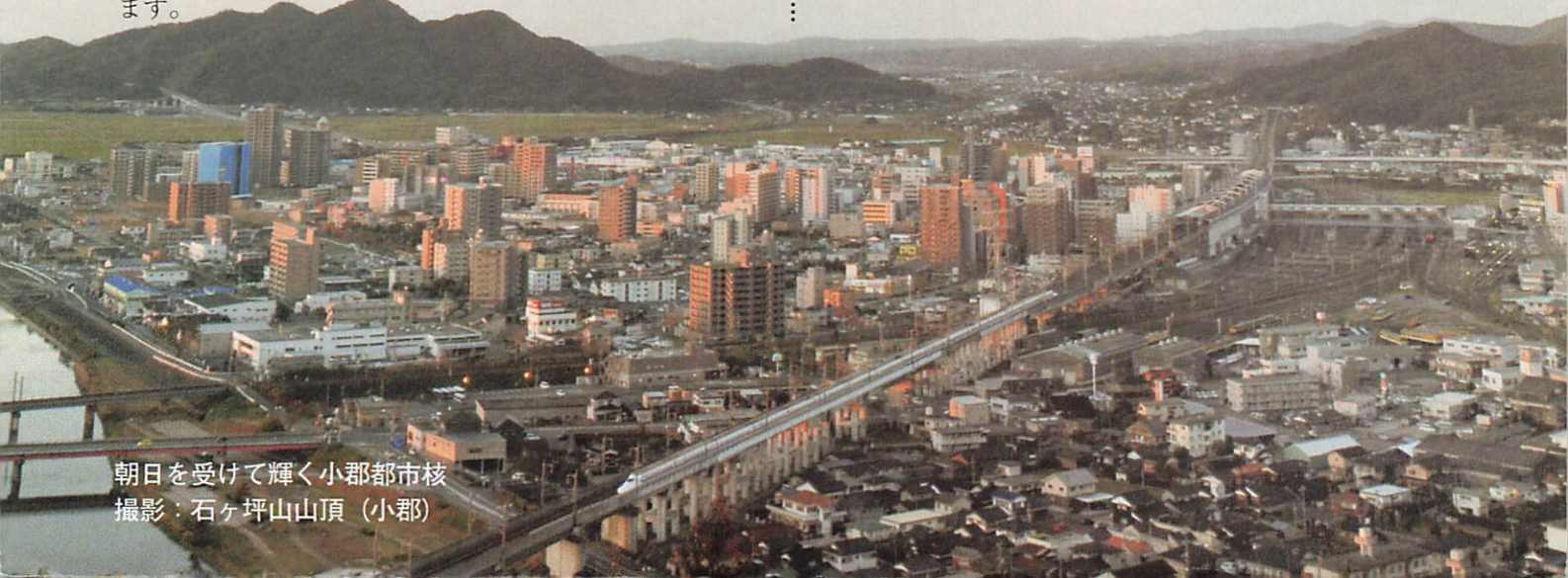
新年明けましておめでとうございます。
 市民の皆様には健やかな新年をお迎えのことと謹んで
 お喜び申し上げます。平素から市議会への御理解と御協
 力を賜っておりますことに心よりお礼を申し上げます。
 新年を迎え議員一同新たな決意のもと、市民福祉の向
 上に向け誠心誠意取り組んでまいり所存でありますので
 よろしく願いいたします。
 昨年は東日本大震災により災害に対する認識を改めさ
 せられるとともに人と人とのつながり、絆の大切さを認
 識することになったところでもあります。市議会といた
 しまして、これからの安心、安全なまちづくりにもしっ
 かりと取り組んでまいり所存でございます。
 さて、今日、国と地方が対等なパートナーシップの関
 係へと転換し地域の自主性及び自立性を高め、地域のこ
 とは地域で責任をもって行えるよう地域主権改革が進め
 られており、地方自治体の権限と責任は日ごとに高まっ
 ております。
 こうした中、市議会では「山口市議会基本条例」のもと、
 市民福祉の向上に向け新たに山口市議会条例立案等調査
 研究会を立ち上げ、議会における政策提案や政策立案を
 具現化した条例制定について鋭意取り組み、二元代表制
 の一翼を担う議会としての役割を果たすため日々積極的
 に活動をしているところでございます。
 県内一の広い市域の中、どの地域でも「住んで良かつ
 た」と思っただけの山口市にするため、市民の皆様
 との絆を大切に御意見をお聴きし、期待に応え信頼して
 いただける議会活動をする決意であります。
 今後も市議会に対し一層の御理解と御協力を賜ります
 とともに、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう
 心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたし
 ます。

謹賀 新年



山口市長 渡辺純忠

新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。
 市民の皆様には、日頃より市政に御理解と御協力を賜
 り、厚くお礼申し上げます。
 昨年は、東日本大震災により自然の脅威を目の当たり
 にするとともに、人と人、地域の「絆」の大切さについ
 ても再認識することとなりました。
 私は、この教訓から市民の皆様様の生活を守るとい
 う思いをさらに強くし、より一層、安心・安全のまちづく
 りに取り組む決意を新たにいたしましたところござい
 ます。
 特に「絆」の重要性が再認識される中で、コミュニティ
 の再生を図ってまいりことは、市民の皆様が望む暮らし
 の安心・安全につなげていくために必要不可欠な取り組
 みであると考えております。本市のまちづくりの柱であ
 る「協働のまちづくり」については、今年も制度を拡充
 しながら全力で取り組んでまいり所存でございます。
 さらに、地方分権や厳しい経済情勢の中でも成長して
 いく都市を目指し、経済的自立と求心力を高めるために、
 「山口都市核」「小郡都市核」の機能強化や、本市の豊富
 な地域資源を活用した価値創造などの「広域県央中核都
 市づくり」を、一層のスピード感をもって進めてまい
 ります。
 また、今年市総合計画の前期まちづくり計画の総仕
 上げの年にもあたることから、中期目標の達成に向けた
 取り組みを強化し、施策横断的な課題対応を計画の見直
 しに反映させるなど、これからの本市のまちづくりの方
 向性も明らかにしてまいります。
 今後とも、市政の推進に市民の皆様様の御理解、御協
 力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして幸多い年
 となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつ
 といたします。



朝日を受けて輝く小郡都市核
 撮影：石ヶ坪山山頂（小郡）

新たな「山口らしさ」作りに挑戦

「ひと・自然・技術・地域愛」豊かな地域資源を生かした6次産業化の取り組み

本市では、豊富な地域資源をフルに活用し地域の発展につなげる仕組みのひとつとして、6次産業化（※1）を重要な施策として位置づけ、さまざまな「もの」や「情報」があふれる成熟社会で、消費者に受け入れられる付加価値の高い「山口らしい」商品開発を進めています。

今回の特集は、そのひとつの試みとして産学官が連携して進めている「山口から“^{カンブツ}Kanbutsu”を発信。」プロジェクト（※2）に関わるみなさんの活動をご紹介します。

■問い合わせ 市広報広聴課（☎083-934-2753）



農 林水産物を活用して乾燥食品の商品開発に取り組み、地域文化に根ざした6次産業化と地域ブランドの確立を目指すプロジェクト

「山口から“^{カンブツ}Kanbutsu”を発信。」プロジェクト



※1 農林水産物、バイオマス、自然エネルギー、風景、伝統文化などの地域資源を有効に活用し、農林漁業者（1次産業）がこれまでの原材料供給者としてだけでなく、自ら連携して加工（2次産業）や流通・販売（3次産業）に取り組み経営の多角化を進めることで農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すことです。（6次産業＝1次産業×2次産業×3次産業）

※2 この事業は、国が「地域の創造・地域の再生」を掲げて進める定住自立圏構想の一環として展開する平成23年度「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業の認定事業として取り組んでいます。

豊富な地域資源から生まれる「乾物」

乾物は、長期保存も可能で栄養価も高く、健康志向の高まりから、最近、注目されている食品です。

現在、市内数カ所の特産物等の乾物化による商品開発が試行されている中、商品化を実現させ、昨年12月から販売を開始した阿東地域のふたつのグループにお話を伺いました。



「意外性」に注目

十種ヶ峰を有する阿東地域の嘉年地区。寒冷な気候を生かした稲作や施設野菜・畜産など阿東地域の中でも特に農業が盛んなところです。

ここで乾物プロジェクトに参加したJ A女性部が乾物化に挑戦したのは、なんと水分たっぷりの「スイカ」です。

完成品はこちらです！

新食感がおいしい 「嘉年でとれたスイカ」



種と皮もそのまま食べることができ、濃縮された甘みは意外にも「おつまみ」としていける味です。



まるまる食べられる 「長門峡でとれたなし」

固すぎず柔らかすぎない、不思議な食感です。かむほどに凝縮された梨の味がにじみ出てきます。

道の駅「長門峡」で販売中。

※少量生産のため、なくなり次第終了となります。

入手がカンタン、ふるさとを連想

地元の農家で栽培され、簡単に手に入ることで、ふるさとのイメージに合うこと、乾燥時の色鮮やかさと濃厚な甘味が、選定の決め手だそうです。

昨年11月のルールフェスタでの試食販売で手応えを感じた担当の佐々木さんは「夏と冬には地区の特産品をセツトで全国発送していますが、今後は、さまざま乾物も追加して全国に新しい『ふるさとの味』を発信します」と気合いも十分です。



もっと梨を味わうために

梨の産地、阿東地域の長門峡は、8月から11月にかけて出荷のピークを迎えます。出荷時期が限られる中、新たな販売方法として、梨ジャムの加工などを手がける「実り会」のみなさんが、この梨の乾物化に取り組みました。

「ここだけの長門峡をここだけの梨で」

実り会のみなさんは「長門峡をもっと有名にしたい」という思いで活動中とのこと。乾物担当の中村さんは、「ここでしか入手できないことをポイントに、長門峡の美しさと梨のおいしさの両方を体感してもらいたいです」と、お話しされました。

11月の試食会では「おいしいので料理にも使いたい」「レシピが欲しい」などの意見も出たようです。梨は加工が難しい果実ですが、乾物化によりお菓子やケーキの開発などへの期待も高まっています。

とってもおいしかったよ。



お子さんにも好評でした



嘉年 昨年11月の試食販売の様子



嘉年 佐々木さん



産生 実り会のみなさん



産生 商品開発会議の様子



産生 実り会のみなさん 前列左が中村さん



山あいのどかな嘉年地区の風景 (十種ヶ峰山頂より撮影)



徳地串での商品開発会議の様子（昨年11月）
お茶にする際のブレンドの提案や、商品パッケージの提案など、豊富な知識で、地域のみなさんと話し合いを進めています。この日は、実際に数種類のブレンドのお茶を入れて試飲しました。



地元企業のコーディネートで 具体化していく「商品」

今回のプロジェクトには、食品乾燥機メーカー木原製作所が、6次産業化のアドバイザーとして関わっています。ここでは、現在進行中の徳地串地区の団体との事例を通して6次産業化の取り組みを紹介します。

お話を伺いました!

着想は 乾燥技術による地域活性化

主力の葉たばこ乾燥の需要減少で、次の事業展開を考えたとき、豊作の際や規格外の作物にも有効利用できる食品乾燥を通して、6次産業化による農山漁村地域の活性化に取り組みたいと考えました。乾燥食材の利点は、保存性が高いこと、輸送コストが低く抑えられることで、軽量という点でも高齢化の進む農山漁村地域で取り組みやすいと思ったからです。

6次産業化アドバイザーとして

市の事業などを通じて地域と関わる中で必要とされたのは、機器の機能の知識だけでなく、乾燥する一次産品の

試作品のお茶以外の活用方法まで提案してもらえ、地域にチャンスを与える大変頼りになる存在です。



千石岳グループ阿部さん

知識や、商品開発、マーケティングのノウハウといったものでした。今はそういった6次産業化を推進できる人材の育成にも力を入れていて、今回の話し合いでも、商品パッケージなどの具体的な提案をさせていただきました。

開発用小型乾燥機の開発

〜機械メーカーとしてできること〜

以前は、一番小型のタイプでも高さ約2m、幅と奥行きが1m以上ありました。これは、商品開発の試行現場では、大きすぎ、手軽に扱えないことが分かりました。そこで、開発用として小型化に取り組み、現在の小型乾燥機ができました。商品開発に携わる地域のみなさんの心理的な負担を軽減できたと思います。

提案型メーカーを目指して

企業として、ビジネスチャンスであるということはもちろんですが、農山漁村地域を活性化させる具体的なイメーヂを提供できるメーカーを目指したいという気持ちで取り組んでいます。

株式会社 木原製作所
木原 専務



食糧問題は今後必ず出てくる課題。少子高齢化の中で農業としっかりと向き合った上で、有効な製品を造っていきたくと語る木原専務

株式会社 木原製作所（秋穂西）



明治35年に製塩釜の製造会社として創業、昭和初期より葉たばこ乾燥機の製造を行う。近年の葉たばこ栽培農家の減少に伴い、シイタケなど食品乾燥の分野に進出。食品乾燥機では、葉たばこの乾燥における湿度管理技術を応用した高い技術力を持つ。最近では、栗の渋皮むき機など、農業の現場で必要とされる機器の開発にも力を入れている。

商品価値を高める「アイデア・PR」

6次産業化が成功するか否かは、商品開発と並行して、いかに商品をPRできるかどうかにかかっています。ここでは、商品そのものの価値を高める取り組みや情報発信について紹介します。

パッケージデザインへのこだわり

商品が消費者に受け入れられるかどうかは、品質もさることながら、製品パッケージのデザインも魅力的なものであることが大切です。

今回の取り組みでは、完成度の高い製品を目指して、商品開発の進行と併せて、コーディネーターを中心に、生産者のみなさんとマーケティングを意識した協議・検討が行われています。

ブランドイメージへの統一感を重視

現在、阿東地域と徳地地域以外にも、秋穂・二島地域のカイガラマンリや秋穂地域の小魚などを活用した商品開発が進んでいます。

今後、「山口の乾物」として統一感のあるパッケージで売り出すことで、ブランドイメージの定着が期待できます。



それぞれの産地で加工される乾物はワンシーズンで3000袋前後ですが、品ぞろえが増えていくことで、年間を通じた供給が可能となり、消費者の楽しみも増えていきます。

「乾物」の良さをPR

乾物をもっと知ってもらうため、11月に講師を招いて料理教室を開催しました。乾物の伝統や、現在の食生活に合うようにアレンジされた調理方法を学びました。



料理教室で紹介された「麩レンチトースト」お麩を使ったおしゃれなデザートです。

参加したみなさんは「使ってみたら面白い」「おいしい」と高評価でした。市内産の乾物も、さまざまなアイデアにより、さらに付加価値が高まっていくことが期待されます。

「作る・乾かす・売る」 全てが山口市内で可能に

白石地域で市内産乾物を使った商品を提供する、中国茶芸師 あんのなおこさんにお話を伺いました。



地元果物の乾物でブレンド茶



阿東のりんごや徳地のブルーベリーをはじめ、県内産の果物と中国茶をブレンドした「楽楽」

あんのさんは、以前の仕事の関係で中国茶に出会い、その奥深さに魅了され、6年前に中国茶館「茶座」を白石地域にオープン。昨年11月には、念願の県内産果物を使ったオリジナルのブレンド茶「楽楽」を完成させました。あんのさんが材料の選定やカットを行い、乾燥作業は紹介で知り合った木原

製作所が担当。何もかもが初めてだったあんのさんにとって「市内に乾燥のノウハウが豊富な木原さんがあったのは、幸運でした。」

乾物でつながる生産者との交流

昨年9月には、徳地串地区で同じく木原製作所の乾燥機を使用して、各家庭の庭に多く存在するゆずを使った特産品開発に取り組み千石岳グループ（5ページで紹介）との交流会



あんのさんのお話、興味津々の串のみなさん

山口だから可能な地域産業づくりを目指して

「乾物」のメリットに着目



市経済産業部
交流産業企画室
主査 宮原 尚規

生産現場の担い手には女性や高齢の方も多く、持続的に生産者の所得向上につなげるためには、新しい視点が必要です。乾物は加工方法もシンプルですし、軽量のため扱いやすく、長期保存が可能で通年販売も期待できるというメリットがあり、少量多品目という本市の生産状況や担い手の状況からも、継続して取り組める手法として期待できると考えました。

地域の生活文化をベースにした産業育成

冷凍・冷蔵技術の進歩や大量生産・大量消費といった産業構造から、乾物が食卓にあがる頻度は少なくなりましたが、最近では健康志向の高まりから再び注目されています。今回の取り組みは、技術進歩や利便性と引き替えに私たちが失ってしまった伝統的な生活文化から価値を見出し、埋もれていた地域資源に光を当てて「山口だからこそ可能」な産業づくりを目指しています。

市町合併が可能にしたネットワーク

6次産業化を進める中で、市域が広がって製品の選択幅が増えただけでなく、生産、加工、学術、販売に関わる人材が市内にそろっていたため連携しやすいということが本市の最大の強みだと感じています。特に国内トップクラスの食品乾燥技術をもつ木原製作所に協力をいただいたことは、大きな弾みになりました。今後は、乾物以外にも同様の視点で、他分野の6次産業化に取り組んでいきます。

■問い合わせ 市経済産業部交流産業企画室
(☎083-934-2928)

専門家がサポートします

6次産業化の取り組みへのアドバイスやサポートに関する総合相談窓口ができました。総合的なサポートを行う「6次産業化プランナー」が農林漁業者の困りごとなどに対応し、6次産業化の計画作りから事業化まで一貫して支援します。

〈連絡先〉
山口県食品開発推進協議会
(滝町1-1 県庁内
☎083-933-4950)

相談は無料です



山口の豊かな食文化を発信

今後は、市内の大学などの高等教育機関と連携し、新たなレシピづくりにも挑戦する予定です。
取り組みの状況は、今後、情報誌やインターネット、テレビなどのメディアを活用して発信していきます。

より多くの人々が出会い、つながり、それぞれが有する知識や技術が集結することにより、乾物プロジェクトはさらに有機的で広がりを持った取り組みとして機能していく可能性を秘めています。

に参加。乾物文化が色濃く残る中国の生活や、乾物の高い栄養価・保存性・おいしさなどを紹介されました。
一方串のみなさんも、身近にあって誰も気にも留めなかったナツメが、中国では健康維持のため日常的に食されていること、また国産品は貴重で、今後の需要が見込めることなど、新たな発見がありました。
あんのさんは、今回の出会いを通じて、乾燥のノウハウを蓄積中の串のみなさんに「楽楽」の材料の乾燥もお願してみたいとも思われたそうです。



串地区に自生するナツメを色鮮やかに乾燥



中国で6年生活した経験もある、あんのさん

目指すは「山口といえば乾物！」

今回の交流で、山口での乾物の可能性を再認識されたあんのさん。
今後の抱負を「自分のお茶が『山口といえば乾物!』というイメージ定着に貢献し、日々の生活に地元産の乾物がもっと取り入れられることで、山口のみなさんの生活に潤いを与えたいです」と、笑顔で語られました。

市政トピックス

「市長と話そう!」 ～食と交流 私の夢～」を開催

平成23年12月2日、仁保地域交流センターで移動市長室「市長と話そう!」～食と交流 私の夢～」を開催しました。

この日は、市長と新たな取り組みにチャレンジする若手就農者や流通・食品加工事業者、さまざまな交流活動を通じて農山村の情報発信に取り組む10人の方々が、



食や地域振興について意見を交換し、来場者のみなさんからも意見をいただきました。また県立大学看護栄養学部の学生4人のみなさんから、今年度、帰郷庵で開催された郷土食に関するイベントへの取り組み状況と研究結果を発表していただきました。いただいたご意見やご要望は、今後の施策と市政運営に生かしていきます。

市広報広聴課

(☎0833・9334・26084)

仁保つどいの広場「いっぽぼ仁保さんぽ」オープン

平成23年12月1日、仁保つどいの広場運営協議会が地域の子育て支援活動の拠点として整備を進めていた仁保つどいの広場「いっぽぼ仁保さんぽ」が12月2日に運営を開始するにあたり、オープニング式典を行いました。

この施設は、市次世代育成行動計画(平成21年3月策定)の重点事業のひとつ「地域型つどいの広場設置助成事業」により、市民と行政が協働して地域における子育て環境の充実を図る目的で設置され、市内で7カ所目となります。名称の「いっぽぼ仁保さんぽ」には、

子どもの歩く姿を表現し、子育て、親育ち、なごみの場となるようにという思いが込められています。

「仁保つどいの広場」いっぽぼ仁保さんぽ

■開館日時 月・水・金曜10時～15時

※祝祭日、お盆、年末年始を除く

■利用料 1家族月額200円

■場所・問い合わせ 仁保中郷10006

(☎0833・9229・0270)

市こども家庭課

(☎0833・9334・2607)

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。



宇部市

くすのきカントリーマラソン

フルマラソンから約7キロのウォーキングまで、自然豊かな5つのコース。

ゲストランナーに中国電力陸上競技部の油谷繁さんを招き、早春の緑の中を駆け抜けます。

あなたの参加をお待ちしています。

■日時 3月11日(日)

9時40分から順次スタート

■場所 スタート・フィニッシュは万倉ふれあいセンター(宇部市大字西万倉1672)

■申込期限 2月7日(火・消印有効)

■申し込み・問い合わせ くすのきカントリーマラソン実行委員会事務局 (☎0836-32-9600)



ゲストランナー 油谷 繁さん

防府市

第11回防府音楽祭 ほうふニューイヤーコンサート

新年の幕開けをこの音楽祭で! タンゴにドラクエ、シンフォニーなど今年も盛り沢山の5日間。みんなで盛り上がりましょう。

- 1/5(木)～6(金)…防府市内各所 オープニング街角コンサート ～英雲荘改修オープン記念(入場無料)
- 1/7(土)…アスピラート1階市民スペース プロムナードコンサート～バンドネオンってどんな音?音?(入場無料)
- 1/8(日)…アスピラート3階音楽ホール 『わくわく夢の響演コンサート～タンゴ、ドラクエ。みんなが創るハーモニー～』
- 1/9(月・祝)…アスピラート3階音楽ホール 『ファイナルコンサート～ベートーヴェンからすざやまこういちまで』

※8日、9日の出演者、チケット等の詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ アスピラート(防府市地域交流センター 防府市戎町一丁目1-28) (☎0835-26-5151 ※9時～17時 火曜休館)



市内の魅力を紹介します。

山口市

湯田温泉で温まりませんか?

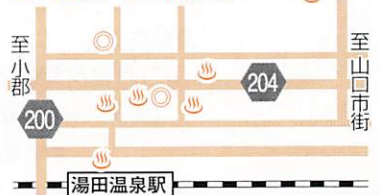
湯田温泉には、無色透明で柔らかく肌触りの良い湯が豊富に湧き出ており、このお湯を足湯や立ち寄り湯、また飲泉などで気軽に楽しむことができます。付近の飲食店や旅館での食事とあわせて、ゆっくりと心も体も温まりませんか。



■料金 足湯・飲泉…無料/立ち寄り湯…下記まで問い合わせ

■問い合わせ 湯田温泉観光案内所 (☎083-901-0150)

☺…足湯、◎…飲泉場



Information お知らせ

湯田温泉白狐まつりで 結婚式を挙げませんか？

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。



一昨年の様子

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。

湯田温泉白狐まつりへ4月7日(土)、8日(日)で結婚式を挙げるカップルを募集します。

☎0883-920-3000
✉yudaspa@cabl.ne.jp

市消防出初式

防火・防災の意識啓発を目的に開催する、新春の恒例行事です。

屋外行事では、市内33の消防分団による観閲行進、迫力の一斉放水などが行われ、地元婦人会が振る舞う温かい豚汁もお楽しみいただけます。

日時 1月8日(日) 10時～12時
場所 山口南総合センター(名田島1218-1)

内容 式典、観閲行進、一斉放水、はしご車体験乗車など

山口市消防本部警防課
☎0883-932-2202

めでたいめでたい 新春収蔵品展

美術や民具の収蔵品から、初春らしいめでたいモチーフを選び展示します。

● 山口総合支所	〒753-8650	龜山町2-1	☎0883-920-4111
● 小郡総合支所	〒754-8511	小郡下郷609-1	☎0883-973-2411
● 秋穂総合支所	〒754-1192	秋穂東6570	☎0883-984-2121
● 阿知須総合支所	〒754-1292	阿知須2743	☎0836-65-4111
● 徳地総合支所	〒747-0292	徳地堀1744	☎0835-52-1112
● 阿東総合支所	〒759-1512	阿東徳佐中34-7-2	☎0883-956-0111

日時 1月4日(水)～22日(日) 9時～17時
休館日 10日(火)、16日(月)
料金 無料
山口市小郡文化資料館(小郡下郷609-3 ☎0883-973-7071)

2011ふるさと山口 就職ガイダンス

卒業を次年度に控えた大学生等のみなさんを対象に、「業界研究」と「自己研究」を同時に行うことのできる就職ガイダンスを開催します。(無料)

日時 1月14日(土) 10時～16時
場所 ホテルかめ福(湯田温泉4-5)

対象 平成25年3月に大学、短大、高专、専修学校を卒業予定で、県内に就職を希望する大学生等

内容 業界発見セミナー…県内企業約30社が参加します。(予約不要)

山口県キラリふるさと講座…山口県の魅力を再発見する講座です。(先着順 要予約)

就活応援コーナー(5講座)…今後の就職に役立つ講座です。専用ウェブサイトにて受け付けます。(先着順 要予約)

山口県若者就職支援センター(山口県若年者地域連携事業推進協議会事務局 ☎0883-976-1145 ☎0883-972-3880
http://www.joby.jp/)

平成24年山口県警察 年頭視閲式

日時 1月6日(金) 14時～15時
場所 山口きらら博記念公園多目的ドーム

内容 警察部隊の行進、警察音楽隊によるドリル演奏、東日本震災における活動状況紹介、警察車両展示(アトフクシヨシ終了後)

山口県警察本部警務部警務課(☎0883-933-0110 内線2636、2637)

イベントカレンダー 1.2月

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

<p>開催日 (曜日)</p>	<p>イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)</p>	<p>1 (日・祝)</p> <p>初日にちかう会・文殊岳 (徳地) ゆたかな串を育てる会 (☎ 0835-54-0765)</p>	<p>市成人式 (白石) 市社会教育課 (☎ 083-934-2866)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>企画展 LabACT vol.2 「Eye Tracking Informatics ~視線のモルフォロジー」 (~3月25日) (白石) 山口情報芸術センター (☎ 083-901-2222)</p> 	<p>4 (水)</p> <p>新春体づくり鴻の峰登山 市生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)</p>	<p>8 (日)</p> 
<p>1 (日・祝)</p>	<p>企画展 「中世の母・フク」 (~4月15日) (湯田) 中原中也記念館 (☎ 083-932-6430)</p> 	<p>6 (金)</p> <p>めでたいめでたい新春收藏品展 (~22日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎ 083-973-7071)</p> 	<p>15 (日)</p> <p>山口市駅伝競走大会 (阿知須) 市生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>4 (水)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p> <p>県警察年頭視閲式 (阿知須) 県警察本部警務課 (☎ 083-933-0110)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p> <p>市消防出初式 (名田島) 市消防本部警防課 (☎ 083-932-2202)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>
<p>1 (日・祝)</p>	<p>元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)</p>	<p>6 (金)</p>	<p>15 (日)</p>

表紙写真から
笑顔があふれる

「SLフェア2011」

表紙の写真は、昨年11月23日、新山口駅周辺で行われたJR西日本主催イベント「SLフェア2011」での、ミニSLに乗って楽しむ子ども達の様子です。この日の駅周辺は、多くの家族連れや鉄道好きの方でにぎわっていました。

同日は、近隣で、新山口駅ターミナルパーク整備に関連した「表口駅前広場を考えるシンポジウム」を開催し、約250人の参加者のみなさんと、新しい駅前広場への期待や「夢」を語りました。



ワークショップ会場に置かれた新山口駅完成イメージ模型

また、12月10日には「新山口駅表口駅前広場づくりを考える市民ワークショップ」を開催し、約70人の参加者が、グループに分かれて周辺を散策し、発見したことなどを話し合いました。次回ワークショップは2月18日(土)の予定です。

市では、今後も市民のみなさんとともに、SLフェアの時のような、にぎわいと活気あふれる駅空間の形成に向けて、山口市・山口県の陸の玄関にふさわしい、新たな駅前広場づくりを進めていきます。

お問い合わせ 市ターミナルパーク整備部計画課 (☎ 083-973-0810)

この広報紙は再生紙を使用しています。使い終わったら、「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 1月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-934-2753 / 印刷 株式会社マル二